

3. 妻の仕事時間が増えても、夫の家事・育児時間は増えない

(1) 共働き世帯の3割で妻の仕事時間が前年よりも増加

共働きの夫婦でも、家事や育児は、妻の方が夫よりも多く担っていることが知られている。しかし、もし妻の仕事時間に変化があったとき、それに応じて夫の家事や育児は変わるのだろうか。

そこでまず、この1年での妻の仕事時間の変化に注目した。具体的には、仕事についている妻のいる世帯（683世帯）を対象に、2012年調査と2013年調査を比べ、妻の平日の仕事時間がどのように変化しているかを調べた。

この1年で妻の仕事時間が増加した世帯は31.0%であった。また、変化がなかったのは44.2%、減少したのは24.7%であった。

このうち、妻の仕事時間が増加した世帯では、増加した時間は平均1時間12分であった。

図表 3-1 妻の仕事時間の変化（妻が有職の世帯）

	増加した世帯 (212世帯)	変化して いない世帯 (302世帯)	減少した世帯 (169世帯)
2012年調査	6時間39分	6時間56分	7時間54分
2013年調査	7時間51分	6時間56分	6時間54分
差	+1時間12分		-1時間00分

※妻が有職である世帯のみを対象としている（妻の平均年齢は約43.0歳）。新規就業・離職・無業のケース、および無回答は除いている。

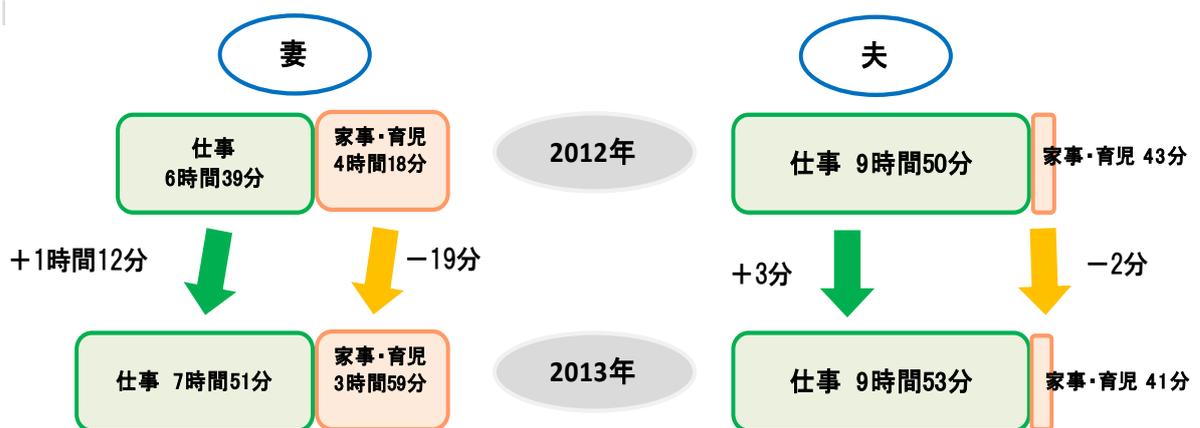
(2) 妻の仕事時間が増えても、夫の家事・育児時間は増えない

共働きの夫婦で、妻の仕事の時間が増えた場合、夫と妻の間ではどのような対処が行われるのだろうか。ここでは、この1年で妻の仕事時間が増えた世帯について、夫の家事・育児時間がどのように変化したのかを調べた。

(1) に示した通り、それらの世帯において、この1年で増えた妻の仕事時間の平均は1時間12分であったが、夫の家事・育児時間は平均で2分減少していた。つまり、妻の仕事時間が増えていても、夫の家事・育児時間はほとんど変わっていないことがわかった。

共働きの世帯で妻の仕事時間が増えた場合であっても、夫による家事や育児の補填は得にくい状況であることが示唆される。

図表 3-2 妻の仕事時間の変化と夫の家事・育児時間の変化



※妻が有職である世帯（妻の平均年齢は約43.0歳）のうち、妻の仕事時間が増加した世帯（212世帯）のみを対象としている。新規就業・離職・無業のケース、および無回答は除いている。